資料４

あいちエコアクション推進事業の展開について
～持続可能な未来のあいちの担い手育成「人づくり」に向けて～

背　景

２００５年（Ｈ１７年）
愛知万博
「自然の叡智」をテーマとした世界で初めての環境万博

２０１０年（Ｈ２２年）
ＣＯＰ10
生物多様性保全の国際的枠組み等を決定する世界会議（COP10では「愛知目標」等が採択）

２０１４年（Ｈ２６年）
ＥＳＤ世界会議
「国連 ESD の 10 年」の活動を振り返るとともに、2014 年以降の方策を議論する世界会議

- ◆ 県民等の環境意識の高まり
- ◆ NPO、市民団体等の環境への取組が活発化

- ◆ 生物多様性の重要性を身近な問題として新たに県民等が認識
- ◆ 県民、NPO、企業による生物多様性をはじめとした環境保全に関する取組が一層拡大

- ◆ 持続可能な社会づくりの大切さ、そのために学ぶことの大切さ、次の世代に受け継ぐことの大切さを理解し、自ら行動することを呼びかけていく

目　的

愛知万博、ＣＯＰ１０の経験を通じて県民の環境への意識は高まり着実に根付いてきたものの、具体的な行動に踏み出せない方々も多くいる。

こうしたことから、本年開催される「ＥＳＤ世界会議」を契機として、県民の環境意識の高まりを、省資源・省エネといった環境への負荷を減らすエコアクション（環境配慮行動）につなげ、**県民が無理なく賢いエコな生活であるスマートエコライフを実践する「環境首都あいち」を目指す。**

事業体系

キックオフイベントの開催
- 学校、ＮＰＯ，企業等のエコアクションの取組を県民に発信
- パネルディスカッション、ブース出展　など

「環境月間　県民のつどい」などの行事を通じて県民への呼びかけを継続していく

ハードネットワーク
ＡＥＬネットを活用したエコアクションの促進
［環境学習施設のネットワーク］
- 県民に様々な環境体験の機会を提供
- ＡＥＬネット施設の連携・拡充

ソフトネットワーク
ウェブサイトの開設
［ウェブでの情報ネットワーク］
- エコアクションの意識づけ
- 環境学習施設等の情報提供
- ＮＰＯ等情報交流サイト

ハードネットワーク（体験の場）とソフトネットワーク（情報交流）の両輪でエコアクションを促し、スマートエコライフを実践

＜継続実施＞

県民みんながスマートエコライフを実践する環境首都あいち